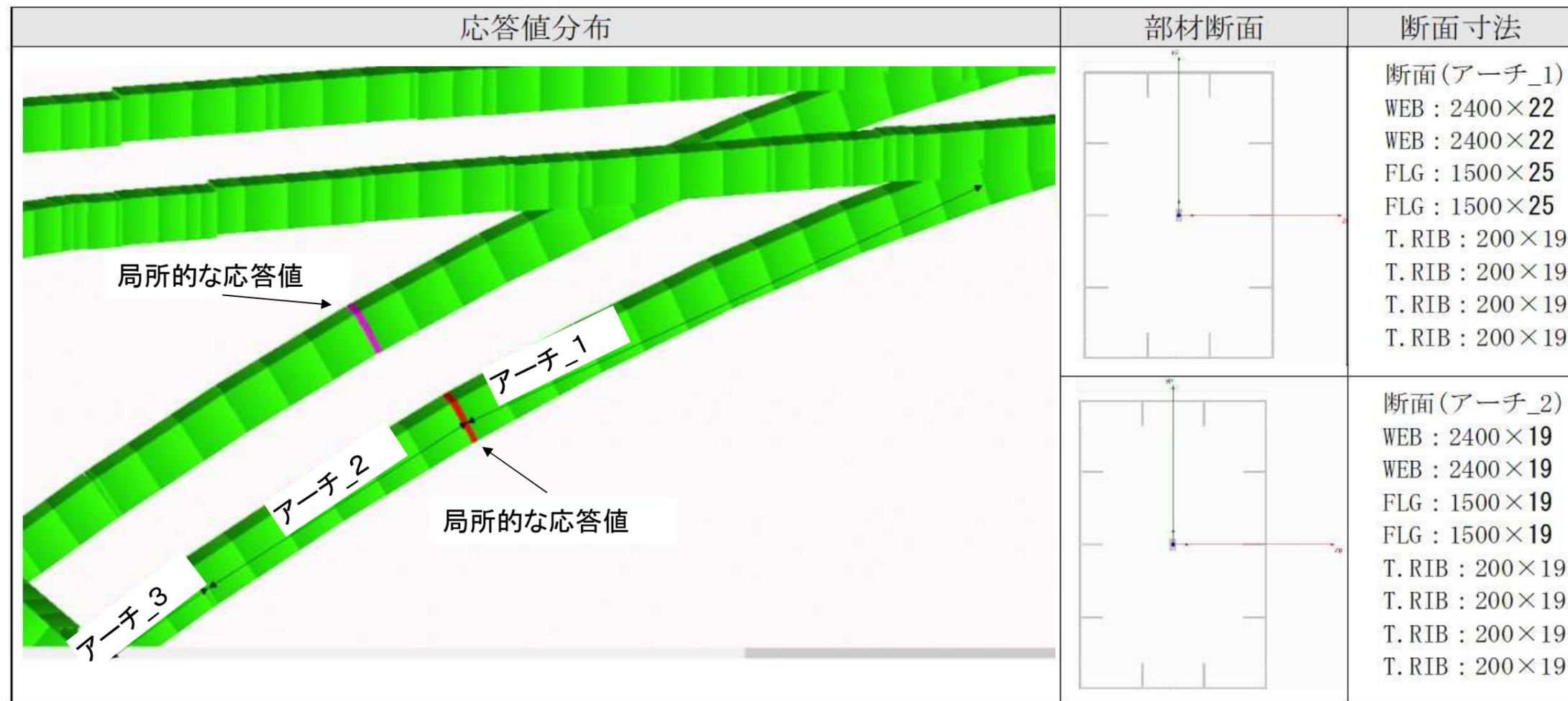
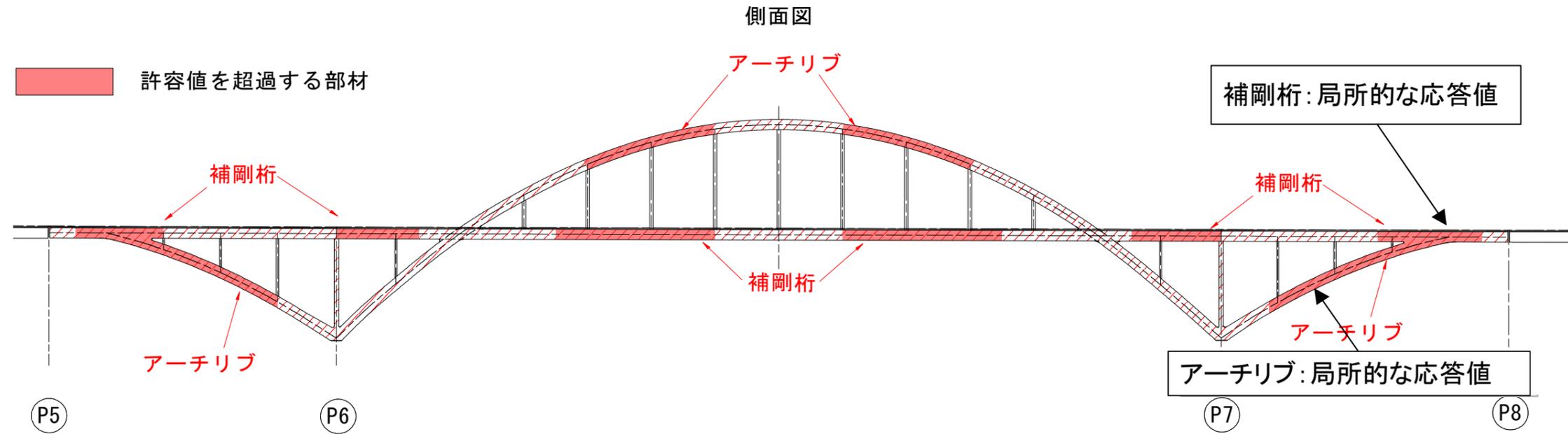


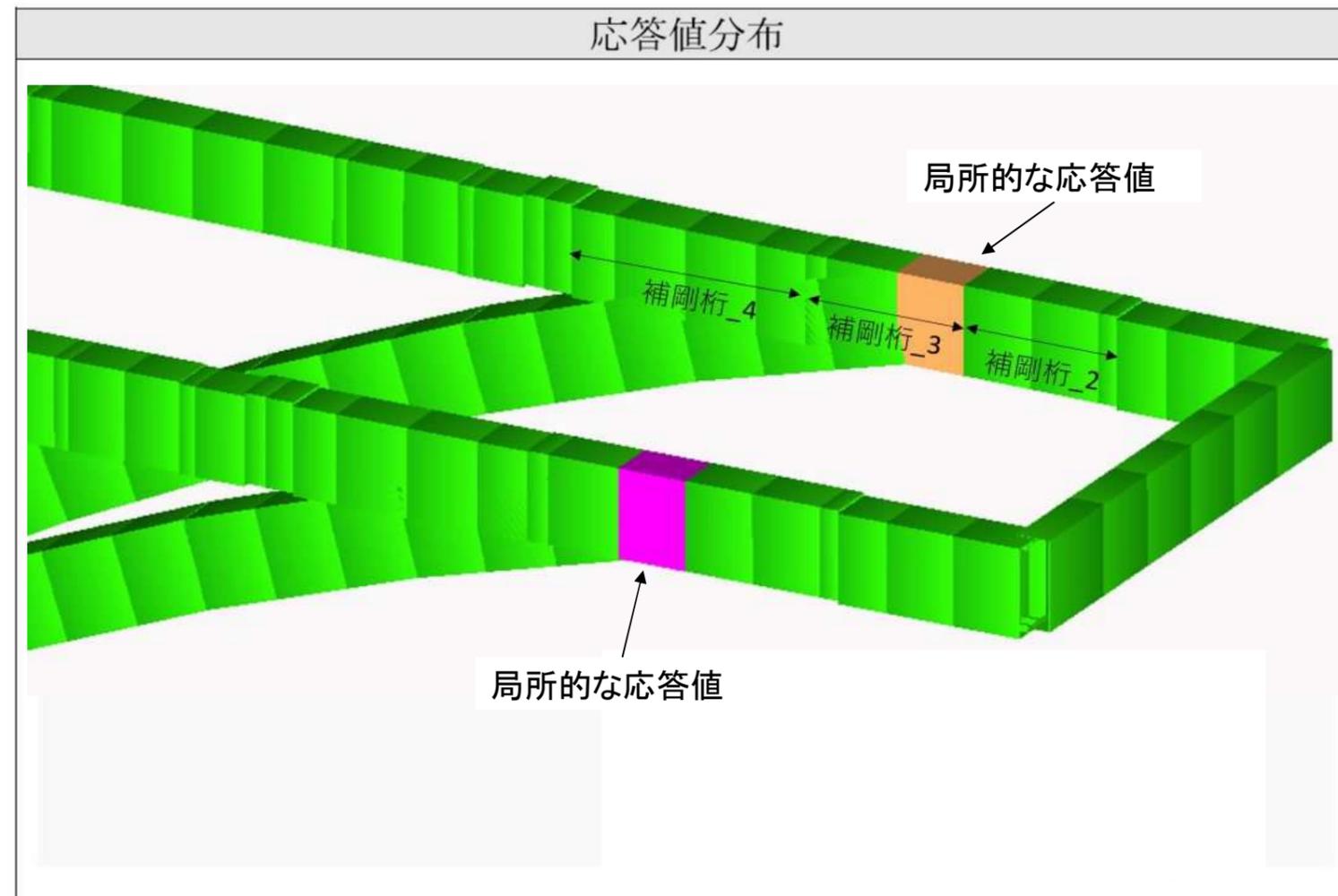
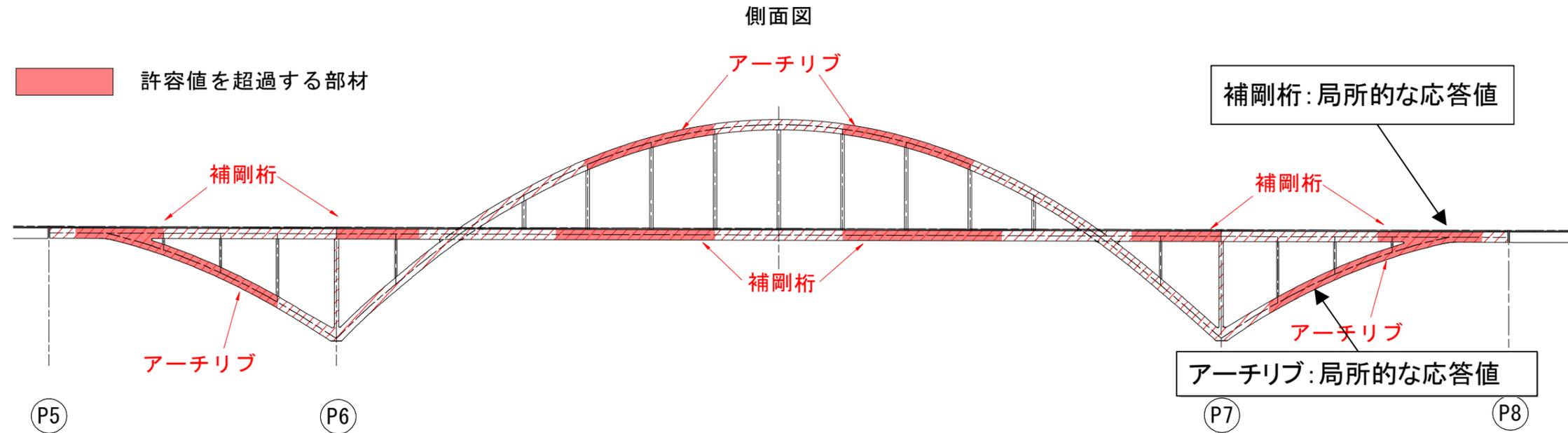
## 6. 局所的な応答値とその対応 (アーチリブ)



局所的な応答分布と構造諸元 (アーチリブ)

対応策 : 当て板補強検討については、詳細設計に申し送り

## 6. 局所的な応答値とその対応（補剛桁）

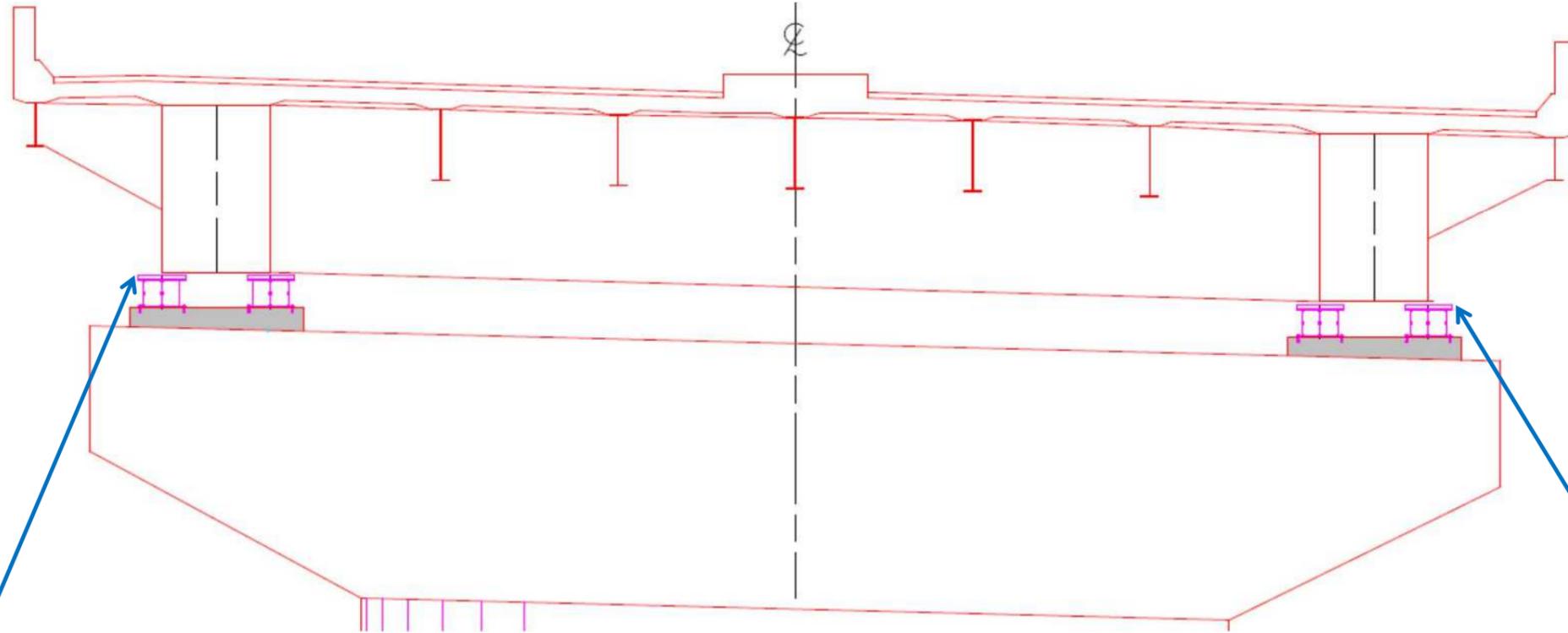


局所的な応答分布と構造諸元（補剛桁）

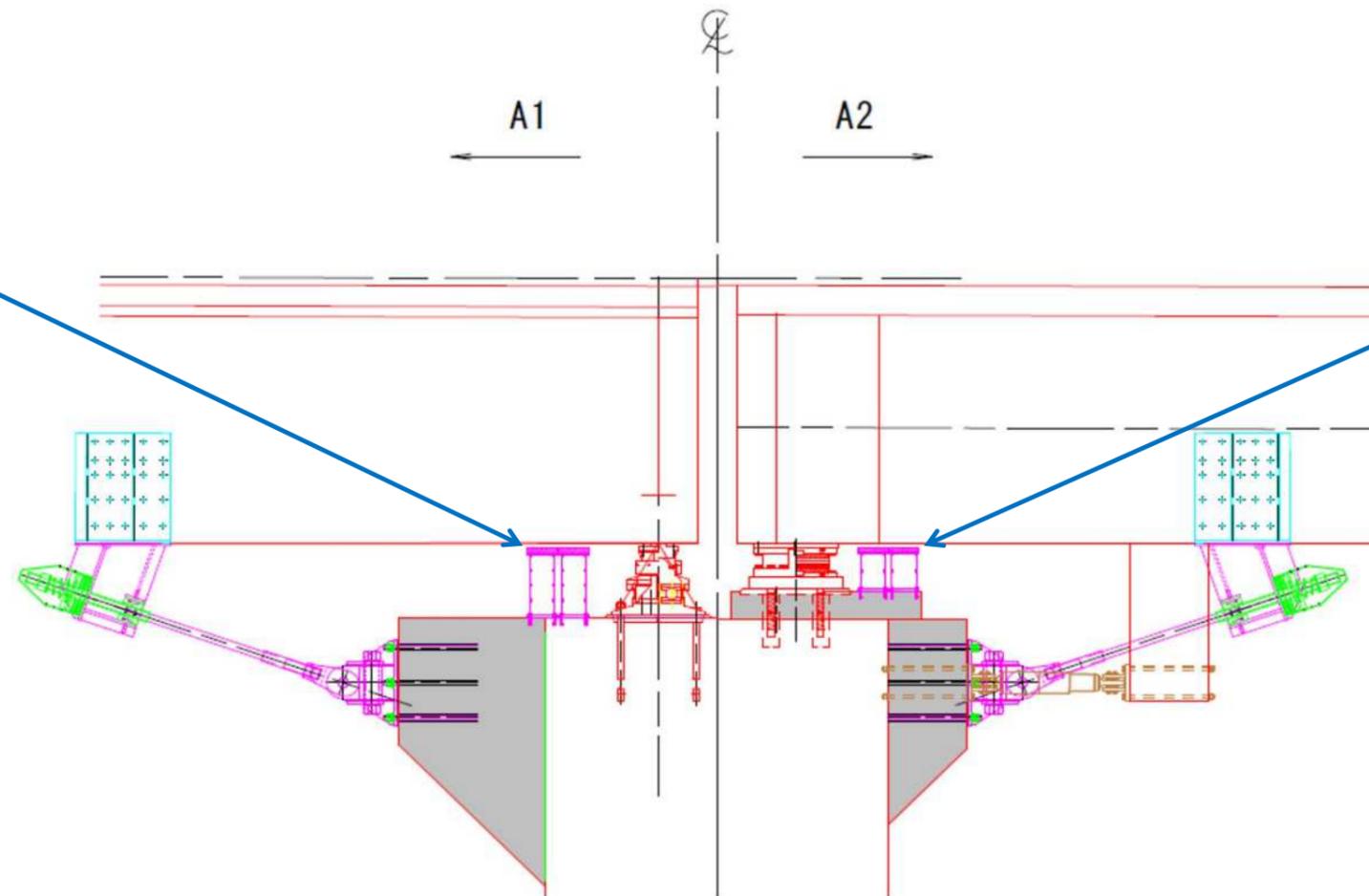
対応策：FEM解析については、詳細設計に申し送り

# 7. 桁端部における段差

断面図



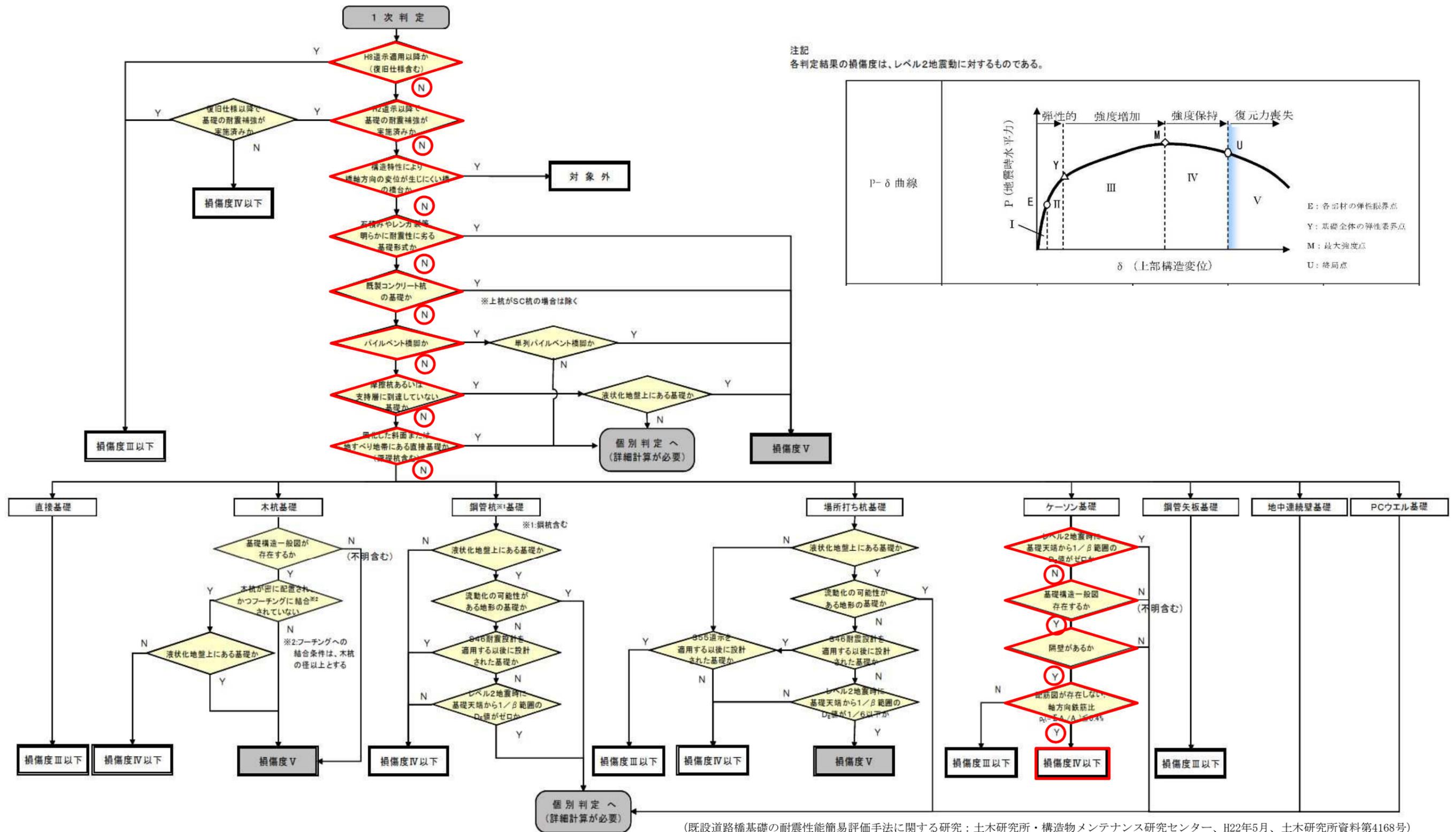
側面図



段差がほぼ生じないように、  
段差防止構造を設置

段差がほぼ生じないように、  
段差防止構造を設置

# 8. 基礎の照査



本橋の基礎の損傷度はⅢ以下もしくはⅣ以下となることから、基礎補強工事は当面不要である。

9. 支承の健全性

橋脚位置	P6	P7
H. 27 点検写真	<p>対策区分 B</p> 	<p>対策区分 B</p> 
	<p>進展なし</p> 	<p>進展なし</p> 
R. 2 点検写真	<p>対策区分 B</p> 	<p>対策区分 B</p> 
損傷評価	<p>健全である</p>	